

第41回法人会全国大会高知大会の報告

常務理事 桑村正員

令和7年10月16日(木)第41回法人会全国大会高知大会が高知県立県民文化ホールで開催され、約1,600名が参加しました。

第1部では、「変化の時代の経営、危機をチャンスに」と題して、株式会社 都築経営研究所 代表取締役 都築富士男氏から記念講演がありました。同氏は、経営者やリーダーの役割は時代の変化で生じる課題を解決する仕組みを作ると同時に事業機会を発見し、参入することだと述べ、①マーケティング②コラボレーション③ベンチマーク、この3つを企業が成長・発展するための必要な機能だと語りました。また、経営者やリーダーに求められる能力について、①情報収集力②先見力③問題解決力を挙げられました。

第2部の大会式典では、一般社団法人高知県法人会連合会の山元文明会長の開会の辞、主催者を代表しての斎藤保全国法人会総連合会長挨拶、江島一彦国税庁長官ほか来賓の祝辞、会員増強表彰等の表彰式に続いて、飯野光彦税制委員長から令和8年度税制改正に関する提言の要旨が発表されました。提言要旨は、財政健全化に向けては今後大規模な自然災害や新たな感染症の拡大等、有事の際には機動的な財政出動を可能にするために財政健全化の取り組みは必要であること。物価高対策や低所得者対策は消費税減税で対応するのではなく、真に支援が必要な人に限定した給付措置が望ましいこと。社会保障制度においては、中小企業の社会保険負担率は年々増加しており、事業主への過度な保険料負担を抑制しつつ、税と社会保障を一括して議論しなければならないこと。経済活性化と中小企業対策については、中小企業が抱える構造的な課題を解決するために、新たな付加価値の創出につながる支援策や中小企業経営者の高齢化に伴うきめ細やかな事業承継税制が必要であること等が中心となっています。

続いて昨年の全国青年の集いにおける発表で、最優秀賞を受賞した法人会青年部会による租税教育活動と健康経営活動の報告があり、最後は池田一義筆頭副会長の税制改正に関する提言の実現を強く求める大会宣言で締めくくられました。

第3部の懇親会では、高知の郷土料理や美味しい地酒が振る舞われる中、会員交流・情報交換が盛んに行われ、来年の水戸大会での再会を約して散会しました。

以上

